東京都環境科学研究所 ニュース

No.50

目　　次

平成１８年度公開研究発表会開催 ……… 1

平成１９年度に財団法人東京都環境整備公社へ移管 ……… 3

平成１８年度の研究紹介

嗅覚測定法における日本式と欧州式の比較 ……… 4

平成１８年度第２回東京都環境科学研究所運営委員会外部評価部会の開催 ……… 6

研究設備の紹介

高速液体クロマトグラフ質量分析計 ……… 7

「研究所の窓」 ……… 8

・東京都環境科学研究所年報２００６を発行しました

・平成１９年４月21日（土）科学技術週間における施設公開開催

・東京都大気環境学会「学術賞」受賞

平成18年度東京都環境科学研究所公開研究発表会開催

平成19年1月16日(火)に都庁の都民ホールにおいて平成１８年度「東京都環境科学研究所公開研究発表会」を開催しました。発表会では、環境科学研究所が行っている研究の成果を、都民の方をはじめとして企業、行政部門の方々にお知らせすることを目的に毎年開催しています。

当日の発表演題は、以下のとおりです。

【発表】

1　自動車排出ガス対策の推進に向けて
　―新たな研究の展開―

2　校庭芝生化のヒートアイランド緩和効果

3　神田川水系の生物相に及ぼす下水処理水の影響

4　負の遺産の解消に向けて
　―化学物質リスク低減のための分析上の取組－

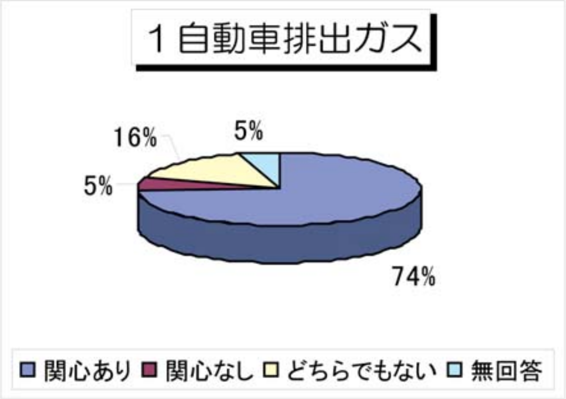
5　効果的な対策のための大気中ＶＯＣ成分の測定

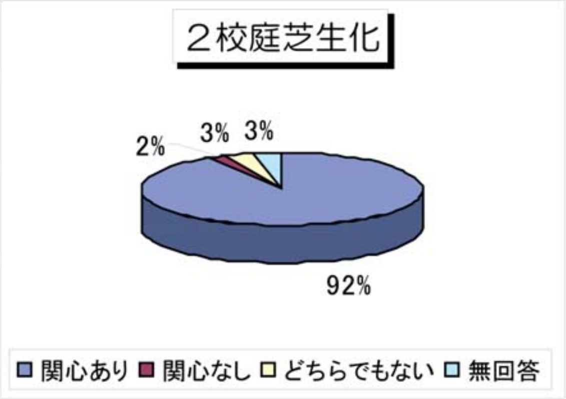
6　振動苦情の実態と新たな測定法

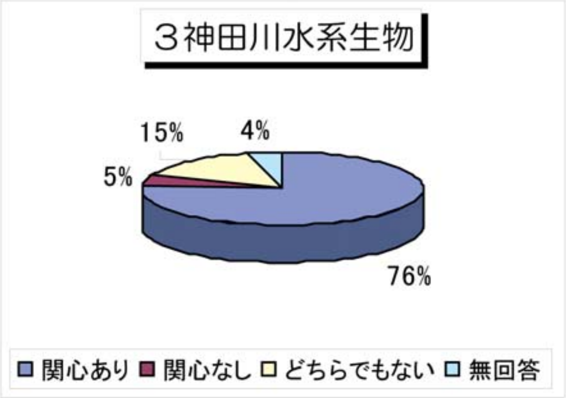
【アンケートの結果】

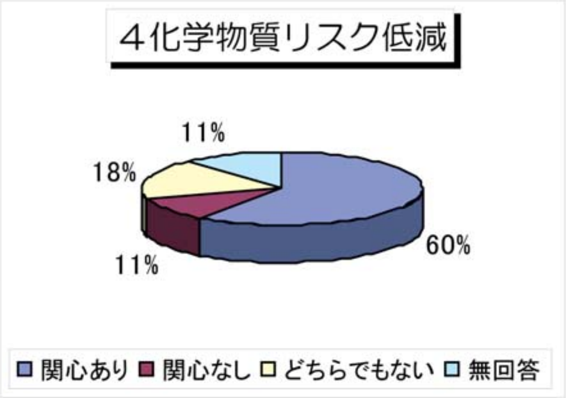
研究発表会当日会場にてご記入をお願いしましたアンケートは、ご来場２６１人中、１４７名の方々からご回答をいただきました。（回収率５６．３％）

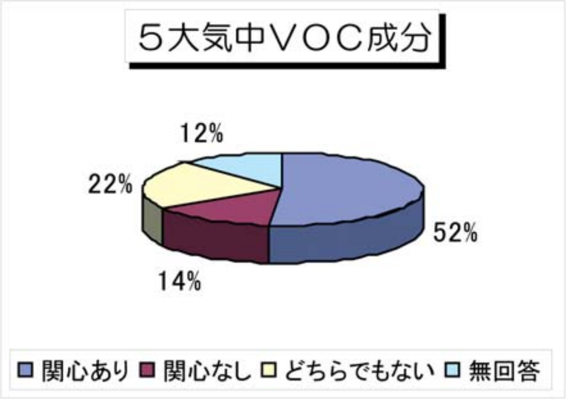
１　発表内容についての関心の度合をお尋ねした結果は、以下のとおりです。

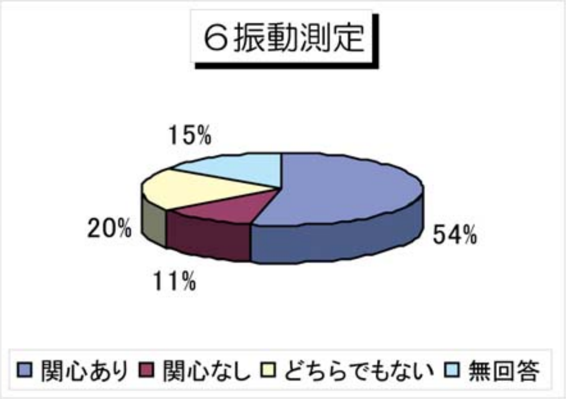




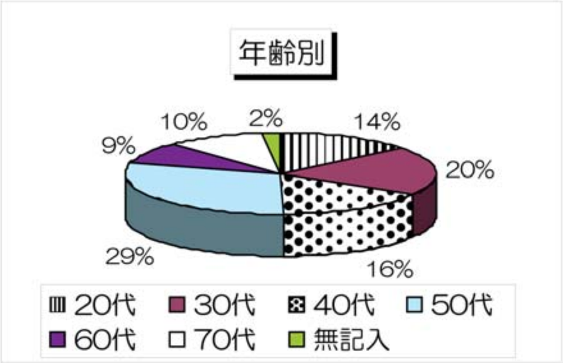


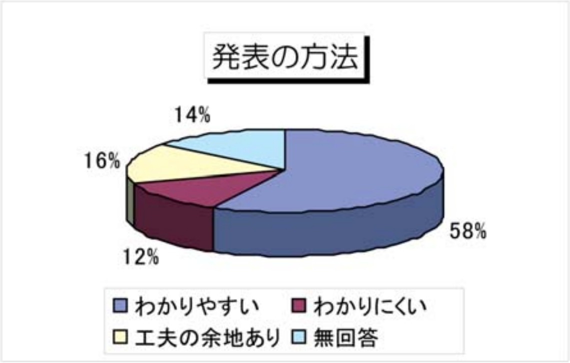






2　ご回答いただいた方々の年齢構成と発表の方法についてのご意見は以下のとおりでした。





3　ご意見・ご感想

（発表の内容）

「エコドライブなど、一般ユーザーに向けての啓発に力を入れることが重要と感じた。」「有機フッ素化合物に興味がわいた。」等のご感想のほか、「壁面緑化などの効果についても知りたい」「専門用語が多く専門知識がないと理解が難しい。」とのご意見もいただきました。

（発表の方法）

「わかりやすくまとまっていた」「グラフが多用されており説得力があった。」とのご意見とともに「目的が明確に伝わらない」「時間がなくて説明が慌しかった」とのご意見もいただきました。そのほか、「発表で使用していたパワーポイント資料も配付してほしい」等のご意見もいただきました。

貴重なご意見をご回答いただきまして有難うございました。今後の研究活動の参考にさせていただくとともに、次回発表会に向けた改善・工夫をしていきます。

発表会当日に会場でお配りしました「研究発表会の要旨」と当日使用したパワーポイントは、研究所ホームページでご覧いただけます。

平成１９年度に財団法人東京都環境整備公社へ移管

東京都環境科学研究所は、平成１９年４月１日に財団法人東京都環境整備公社へ移管となります。「財団法人東京都環境整備公社 東京都環境科学研究所」として、今後とも都民の皆様の視点に立ち、東京都の環境行政の支えとなる研究のために一層の努力を行ってまいります。引き続き当研究所の事業運営につきましてご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。